

平成29年度 地方創生交付金活用事業 実施状況

平成29年度地方創生交付金活用事業一覧

1. 地方創生推進交付金 活用事業

No.	基本目標	交付対象事業の名称	事業概要	予算額	決算額	交付決定額	備考
1	基本目標3 “賑わいあふれる”まちづくり	観光支援事業	鹿放ヶ丘地域の魅力を高める鹿放ブランドの構築 農家の所得向上に向けた加工品開発及び販路開拓	4,000,000 円	4,000,000 円	2,000,000 円	地方創生推進交付金 交付額 1 / 2

実施状況等の見方

基本目標3 “賑わいあふれる”まちづくり ～地域における安定した雇用を確保する～													
No.	計 画				実 施 状 況			外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について			
	事業名及び担当課・交付金	事業の目的	事業概要	重要業績評価指標	事業成果	重要業績評価指標（実績）	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由		
1	観光支援事業 【産業振興課】 交付金額 2,000,000 円	当市が新しく創出する観光産業を位置づけ、他の地域に開拓の歴史を持つ鹿放ヶ丘地区を育てる目玉の観光地の一つとして、鹿放ヶ丘地区の魅力を向上させるために、鹿放ヶ丘地区の魅力を向上させる。また、本事業の実施に合わせ、鹿放ヶ丘地区並みの農産物を使ったお土産品や飲食店で提供する新メニューの販売を行い、農家の所得の向上を図る。また、いちご狩りをはじめとする観光、地域の祭りやイベントに参加する観光客の増加による地域活性化を図る。	・鹿放観光農園の主催による落花生とサツマイモ収穫体験の実施 ・中心市街地の協力店舗における「鹿放ヶ丘フェア」の開催	・着地型旅行商品の売り上げ：250,000 円 ・6次産業化メニューの販売セット数：50	平成 28 年度以降、継続的に本事業を実施しており、これらの成果を活かした着地型旅行商品や加工品の販路開拓を行うとともに、情報発信等の充実を図り、地域住民等の所得向上を目指す事業を展開した。 ●鹿放ヶ丘地区の住民や農家の方々などが集まり、鹿放ヶ丘の活性化について話し合ってきた。また、10月6日、7日、21日、22日の4日間において開催し、述べ1,000名の方々が参加した。なお、上記の着地型旅行商品の販売セット数は、10月6日、7日の2日間において100セット、10月21日、22日の2日間において900セットであった。	・着地型旅行商品の売り上げ：76,500 円 ・6次産業化メニューの販売セット数：65	地方創生に効果があった。			事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））	地元生産者の所得向上と後継者不足の解消につながったこと、引き続き消費者と生産者の距離を縮めてファンを獲得するための取組をしていく必要がある。今後は、単なる着地型旅行商品の提供に留まらず、生産者の負担軽減、観光人材の育成、事業の持続性を考慮し、本業である生産者の延長線上で実施しながら、実施する体験型観光ノウハウが蓄積されるよう固定収入の導入に向けて取り組んでいく。産業化メニューの向上を図る。		

●「計画」に記載された内容は、交付金申請時の実施計画書より、各項目の内容を転記しています。

●「事業効果」については、以下の基準により評価を行っています。

- ①地方創生に非常に効果的であった。（指標が目標値を上回ったなどの場合に選択）
- ②地方創生に相当程度効果があった。（目標値を上回ることはなかったものの目標値を相当程度（7割～8割）達成したなどの場合に選択）
- ③地方創生に効果があった。（目標値を上回ることはなかったものの事業開始よりも改善した場合に選択）
- ④地方創生に対して効果がなかった。（実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合に選択）

●「外部有識者からの評価」については、実施状況等に基づき、当該事業の評価を決定します。

- ①地方版総合戦略のKPI達成に有効であった。
- ②地方版総合戦略のKPI達成に有効とは言えない。

●「今後の方針」については、事業成果、事業評価並びに外部有識者からの意見等に基づき、当該事業の今後の方針を決定します。

- ①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる。
- ②事業内容の見直し（改善）を行う。（または、行った）
- ③特に見直しをせず事業を継続する。
- ④継続的な事業実施を予定していたが中止した。
- ⑤当初の予定通り事業を終了した。

基本目標3 “賑わいあふれる” まちづくり ～地域における安定した雇用を確保する～

No.	計 画				実施状況			外部有識者からの評価		実績値を踏まえた事業の今後について	
	事業名及び担当課・交付金	事業の目的	事業概要	重要業績評価指標	事業成果	重要業績評価指標（実績）	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
1	観光支援事業 【産業振興課】 交付金額 2,000,000 円	<p>当市が新しく創出する産業に観光産業を位置づけ、他の地域に無い開拓の歴史を持つ鹿放ヶ丘地区を誘客できる目玉の観光地の一つにしていく。そのために、鹿放ヶ丘地区の魅力の発信と知名度の向上を図る。</p> <p>また、本事業の実施に合わせ、鹿放ヶ丘地区並びに当市の農産物を使ったお土産品や市内の飲食店で提供する新メニューの開発そして販売を行い、農家の所得の向上を図る。また、いちご狩りをはじめとする農業体験、地域の祭りやイベントに参加する着地型旅行商品を開発、販売し、市内外からの交流人口の増加による地域活性化を図る。</p> <p>事業2年目の今回は、鹿放ヶ丘の活性化に向け、季節ごとに行える農業収穫体験や認知度向上のための鹿放ヶ丘フェアの開催などを予定している。</p>	<p>・鹿放観光農園の主催による落花生とサツマイモ収穫体験の実施</p> <p>・中心市街地の協力店舗における「鹿放ヶ丘フェア」の開催</p>	<p>・着地型旅行商品の売り上げ： 250,000 円</p> <p>・6次産業化メニューの販売セット数： 50</p>	<p>平成 28 年度以降、継続的に本事業を実施しており、これらの成果を活かした着地型旅行商品や加工品の販路開拓を行うとともに、情報発信等の充実を図り、地域住民等の所得向上を目指す事業を展開した。</p> <p>●鹿放ヶ丘地区の住民や農家の方々など関係者が集まり、鹿放ヶ丘の活性化について考える場である「鹿放の風」を 3 回開催した。</p> <p>●新たに発足した「鹿放観光農園」主催により落花生とサツマイモの収穫体験を 10 月 6 日、7 日、21 日、27 日から 29 日の計 6 日間において開催し、述べ 65 人に参加していただいた。なお、上記の着地型旅行商品参加者に落花生を使ったメニューを提供した。</p> <p>●icoba 四街道1丁目において鹿放ヶ丘の農産物の販売や鹿放ヶ丘の農産物を使った商品販売した。</p>	<p>・着地型旅行商品の売り上げ： 76,500 円</p> <p>・6次産業化メニューの販売セット数： 65</p>	<p>地方創生に効果があった。</p>	<p>地方版総合戦略の K P I 達成に有効であった。</p>	<p>「icoba」を活用し、参加者の収穫体験、加工商品化したものを販売するといった一連の流れが作られるスキームは、評価できるものである。ただし、効果的な事業展開のため、以下を検討願いたい。①事業ターゲットを明確化すること②参加者属性の把握を行い、リピーターの確保につながるようにすること③メディアや専門サイトなどを活用して事業周知に努めること④もてなす側の受け入れ体制が持続的継続的なものとなるよう検討すること</p>	<p>事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））</p>	<p>地元生産者の所得向上と後継者不足の解消につながったとはいえないため、引き続き消費者と生産者の距離を縮めてファンを獲得するための取り組みをしていく必要がある。</p> <p>今後は、6次産業化メニューの磨き上げや地域ブランド化に向けた動きが活発になるよう、専門家を交えた定期的な意見交換の場を設け、商品力の強化を図っていく。</p> <p>また、単なる着地型旅行商品の提供に留まらず、生産者の負担軽減、観光人材の育成、事業の採算性・継続性を考慮し、本業である生産作業の延長線上でありながら、実施するごとに体験型観光に関するノウハウが蓄積され、固定収入の確保につながるオーナー制度の導入に向けて取り組んでいく。</p>



鹿放の風 ホームページ



鹿放ヶ丘観光農園



落花生収穫体験の様子



サツマイモ収穫体験の様子



鹿放ヶ丘フェア 配布チラシ